

番 号 : 150348

国 名 : ブラジル

担当部署 : 地球環境部自然環境第二チーム

案件名 : 森林伐採及び森林劣化のモニタリング促進能力強化プロジェクト詳細計画策定調査 (評価分析/森林保全)

1. 担当業務、格付等

- (1) 担当業務 : 評価分析/森林保全
- (2) 格 付 : 3号
- (3) 業務の種類 : 調査団参团

2. 契約予定期間等

- (1) 全体期間 : 2015年6月中旬から2015年8月中旬まで
- (2) 業務M/M : 国内 0.50M/M、現地 0.97M/M、合計 1.47M/M
- (3) 業務日数 : 準備期間 5日 現地派遣期間 29日 整理期間 5日

3. 簡易プロポーザル等提出部数、期限、方法

- (1) 簡易プロポーザル提出部数 : 1部
- (2) 見積書提出部数 : 1部
- (3) 提出期限 : 6月3日(12時まで)
- (4) 提出方法 : 専用アドレス (e-propo@jica.go.jp)への電子データの提出又は郵送(〒102-8012 東京都千代田区二番町5番地25二番町センタービル)(いずれも提出期限時刻必着)

※2014年2月26日以降の業務実施契約(単独型)公示案件(再公示含む)より、電子媒体による簡易プロポーザルの提出を本格導入しています。

提出方法等詳細についてはJICAホームページ(ホーム>JICAについて>調達情報>お知らせ>「コンサルタント等契約における業務実施契約(単独型)簡易プロポーザルの電子提出本格導入について」(http://www.jica.go.jp/announce/information/20140204_02.html))をご覧ください。なお、JICA本部1階調達部受付での受領は廃止しておりますので、ご持参いただいても受領致しかねます。ご留意ください。

4. 簡易プロポーザル評価項目及び配点

- (1) 業務の実施方針等 :
 - ①業務実施の基本方針 16点
 - ②業務実施上のバックアップ体制等 4点
 - (2) 業務従事者の経験能力等 :
 - ①類似業務の経験 40点
 - ②対象国又は同類似地域での業務経験 8点
 - ③語学力 16点
 - ④その他学位、資格等 16点
- (計100点)

類似業務	評価分析及び森林保全に係る各種調査
対象国/類似地域	ブラジル/中南米
語学の種類	英語

5. 条件等

- (1) 参加資格のない社等 : 特になし
- (2) 必要予防接種 : なし

6. 業務の背景

ブラジルのアマゾン地域には世界最大の熱帯林があり、アマゾンにおける炭素排出の抑制については気候変動対策の観点から世界的な注目を集めている。JICAはブラジルに対し、アマゾンを中心に森林保全に関する協力を実施してきている。具体的には、技術協力プロジェクト「セラード生態コリドー保全プロジェクト（2003.2～2006.1）」、技術協力プロジェクト「東部アマゾン森林保全・環境教育プロジェクト（2004.1～2007.1）」、技術協力プロジェクト「アマパ州氾濫原における森林資源の持続的利用計画プロジェクト（2005.11～2009.5）」、技術協力プロジェクト「アマゾン森林保全・違法伐採防止のためのALOS衛星画像の利用プロジェクト（2009.6～2012.6）」、技術協力プロジェクト「ジャラポン地域生態系コリドープロジェクト（2010.4～2013.4）」、科学技術協力「アマゾンの森林における炭素動態の広域評価（2010.5～2014.5）」等を実施し、持続的森林経営の実践、アグロフォレストリー農法の普及や環境教育、ALOS衛星画像による違法伐採の監視能力向上、生物多様性保全、アマゾン地域のCO2吸収量（炭素固定量）及び減少・劣化に伴う排出量を算定するためのモニタリング技術の開発等を支援してきた。これらの支援とブラジル独自の取り組みも相まって、アマゾンの森林減少による温室効果ガスの排出量は対2004年比で、2014年には約82.5%の削減を達成するなど成果がみられている。

ブラジルでは、2008年にノルウェーやドイツなどが拠出してアマゾン基金が設立されており、また2014年6月にはUNFCCCにアマゾン地域の森林排出参照レベル（Forest Reference Emission Levels:以後「FREL」と省略）が提出されるなど、森林保全に関する取り組みが進展している。他方、これまでの取り組みがアマゾンに集中しているため、炭素蓄積の測定という意味では、アマゾンの次に炭素蓄積が多いとされるセラード地帯などではほとんど取り組みが進んでいない他、アマゾンでも森林火災や違法伐採跡地の炭素量減少（劣化）などについての量的な把握が進んでいないなど、課題を抱えている。また、違法伐採対策については、昨年5月に打ち上げられた陸域観測技術衛星「だいち2号」の衛星画像ALOS2を活用した早期監視システムの開発や商業伐採地の監視など、日本の技術に対する期待が高い。

このような状況のもとブラジル政府は、技術協力プロジェクト「森林伐採及び森林劣化のモニタリング促進能力強化プロジェクト」（以下、本プロジェクト）を我が国に要請した。この要請に基づき、JICAは2015年4月に調査団を派遣し、ブラジル環境省（Ministério do Meio Ambiente:以後「MMA」と省略）をはじめとする関係機関（環境・再生可能資源院（Instituto Brasileiro do Meio Ambiente e dos Recursos Naturais Renováveis:以後「IBAMA」と省略）、国立アマゾン研究所（Instituto Nacional de Pesquisas da Amazônia:以後「INPA」と省略）、国立宇宙研究所（Instituto Nacional de Pesquisas Espaciais:以後「INPE」と省略）と協カスコープに関する協議を行った。その結果、①森林減少・劣化からの温室効果ガス排出削減（Reduction of Emission from Deforestation and forest Degradation + :以後「REDD+」）と省略）政策支援、②ALOS-2を活用した早期監視システムの開発、③森林減少・劣化のモニタリングの方法論開発、④気候変動対策としてのアグロフォレストリーの促進の4つを協力内容の候補とすることをブラジル側のMMAと合意した。なお、成果ごとに責任機関は異なるスコープでブラジルMMAとは大枠合意しており、関係機関を含めた会合をMMA主導のもと実施することとなっている。

本業務は、2015年4月の調査結果を踏まえ、要請背景の確認、プロジェクト内容の検討に必要な情報収集、先方政府とプロジェクト内容を協議することを目的として詳細計画策定調査を実施するものである。

7. 業務の内容

本業務の業務従事者は、技術協力プロジェクトの仕組み及び手続きを十分に把握の上、調査団員として派遣される機構職員、REDD+政策支援団員、リモートセンシング団員、森林モニタリング団員等と協議・調整しつつ、評価5項目（妥当性、有効性、効率性、インパクト、持続性）に基づく事前評価に必要なデータ、情報を収集、整理し分析するとともに、担当分野に係る協力計画策定のために必要な以下の調査を行う。

具体的担当事項は次のとおりとする。

(1) 国内準備期間 (2015年6月中旬)

- ①要請背景・内容を把握 (要請書・関連報告書等の資料・情報の収集・分析) の上、現地調査で収集すべき情報を検討し、必要に応じ、関係機関 (MMA、IBAMA、農業ブラジル農牧研究公社 (Empresa Brasileira de Pesquisa Agropecuária:以後「EMBRAPA」と省略) 等) に対する質問票 (案) (英文) を作成する。
- ②関係機関の現状分析、情報収集に必要な調査用資料を作成する。
- ③他ドナーが実施する類似プロジェクトに関する資料・情報の収集、分析を行う。
- ④対処方針会議等に参加する。

(2) 現地派遣期間 (2015年6月下旬～7月下旬)

- ①JICAブラジル事務所との打合せに参加する。
- ②ブラジル側関係機関 (MMA、INPE、INPA、EMBRAPA等) との協議及び現地調査に参加し、ブラジル側に詳細計画策定調査の実施方法について説明する。
- ③あらかじめJICAブラジル事務所を通じてブラジル側関係機関に配布した上記(1)①の質問票を回収するとともに、他団員と協力し、下記の事項について情報収集・分析する。
 - ア) ブラジルにおけるREDD+の政策、実施体制、取組状況、今後の計画等
 - イ) 他ドナー、NGO等のブラジルのREDD+に関する援助動向
 - ウ) REDD+に関する南南協力 (アマゾン協力条約機構 (Amazon Cooperation Treaty Organization)、ブラジルからアフリカへの協力等) の現状と今後の計画等
- ④アグロフォレストリーに関する下記の事項について、情報収集・分析する。
 - ア) アマゾン地域におけるアグロフォレストリー活動の現状把握・分析
 - イ) 関係機関 (EMBRAPA等) のアグロフォレストリー普及促進体制
 - ウ) アマゾン地域のアグロフォレストリーの普及に係る実施状況と課題等
 - エ) アマゾン地域のアグロフォレストリーを支援する本邦企業の進出状況
 - オ) アグロフォレストリーにおけるトメアス移住地と他地域との実施状況の比較
- ⑤他の団員と協力し、事業事前評価表 (案) (和文) の作成に必要な各種情報を収集・分析する。
- ⑥他の団員及びブラジル側 (MMA、INPE、INPA、EMBRAPA等) と協議の上、PDM (案) (和文・英文)、PO (案) (和文・英文) の作成を支援する。
- ⑦ブラジル側 (MMA、INPE、INPA、EMBRAPA等) との協議で合意された内容に基づき、R/D (案) (英文) 及びM/M (案) (英文) の作成に協力する。
- ⑧評価5項目 (妥当性、有効性、効率性、インパクト、持続性) の観点からプロジェクトを分析し、事業事前評価表 (案) の作成に協力する。
- ⑨担当分野に係る現地調査結果をJICAブラジル事務所等に報告する。

(3) 帰国後整理期間 (2015年7月下旬～8月上旬)

- ①事業事前評価表 (案) (和文) 作成に協力する。
- ②帰国報告会、国内打合せに出席するとともに担当分野に係る調査結果を報告する。
- ③担当分野に係る詳細計画策定調査結果 (案) (和文) を作成し、全体の取りまとめに協力する。

8. 成果品等

本契約で作成する報告書、成果品は以下のとおり。

(1) 詳細計画策定調査結果 (案) (和文)

電子データをもって提出することとする。

9. 見積書作成に係る留意点

本公示の積算を行うにあたっては、「JICAコンサルタント等契約における見積書作成ガイドライン」 (<http://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/quotation.html>) を参照願います。

留意点は以下のとおりです。

(1) 航空賃及び日当・宿泊料等

航空券・旅費（日当・宿泊費）は契約に含む。なお、積算可能な費用項目については http://www.jica.go.jp/announce/manual/form/consul_gt/index_201301.html プロポーザルの提出（見積書）を参照のこと。

なお、ブラジル行き優先経路地は、ニューヨーク/アトランタ/トロント/ヒューストン/シカゴ/ダラス/デトロイト/ワシントンまたはドバイ/ドーハ/アブダビとなります。

10. 特記事項

(1) 業務日程／執務環境

① 現地業務日程

現地派遣期間は2015年7月4日～2015年8月1日を予定しています。なお、本業務従事者はJICA、林野庁団員を除く他の団員とともに2週間先行して調査を行うことを予定しています。

② 現地での業務体制

本業務に係る調査団構成は、以下のとおりです。

- ア) 総括（JICA）
- イ) 協力企画（JICA）
- ウ) REDD+政策支援（林野庁）
- エ) 森林モニタリング（森林総合研究所）
- オ) リモートセンシング（一般財団法人リモート・センシング技術センター）
- カ) 評価分析／森林保全（コンサルタント）

③ 便宜供与内容

当機構ブラジル事務所による便宜供与事項は以下のとおりです。

- ア) 空港送迎
あり
- イ) 宿舎手配
あり
- ウ) 車両借上げ
全行程に対する移動車両の提供
- エ) 通訳備上
あり（日本語もしくは英語⇄ポルトガル語）
- オ) 現地日程のアレンジ
調査初期の日程のみ機構がアレンジします。
- カ) 執務スペースの提供
なし

(2) 参考資料及び配布資料

① 本業務に関する以下の資料が当機構のウェブサイトで公開されています。

- ・「セラード生態コリドー保全プロジェクト」

(<http://libopac.jica.go.jp/images/report/P0000170906.html>)

- ・「東部アマゾン森林保全・環境教育プロジェクト」

(<http://gwwweb.jica.go.jp/km/ProjectView.nsf/11964ab4b26187f649256bf300087d03/88ef1053d0bc3732492575d10035a5f3?OpenDocument>)

- ・「アマパ州氾濫原における森林資源の持続的利用計画プロジェクト」

(<http://gwwweb.jica.go.jp/km/ProjectView.nsf/11964ab4b26187f649256bf300087d03/968d2d5c430144af492575d10035a613?OpenDocument>)

- ・「アマゾン森林保全・違法伐採防止のためのALOS衛星画像の利用プロジェクト」

(<http://gwwweb.jica.go.jp/km/ProjectView.nsf/VIEWParentSearch/A57C7EEEEEF8BC73E492575D10035A72B?OpenDocument&pv=VW02040102>)

- ・「ジャラポン地域生態系コリドープロジェクト」

(<http://gwweb.jica.go.jp/km/ProjectView.nsf/VIEWALL/38F470F016EAB85D492576820079F299?OpenDocument>)

・「アマゾンの森林における炭素動態の広域評価」

(<http://gwweb.jica.go.jp/km/ProjectView.nsf/VIEWALL/D22BEFDA873697C2492576F6002BCD4D?OpenDocument>)

・「東部アマゾン持続的農業技術開発計画」

(<http://gwweb.jica.go.jp/km/ProjectView.nsf/VIEWParentSearch/25CBB9D87492B7E9492575D10035A471?OpenDocument&pv=VW02040104>)

・「アグロフォレストリーアマゾンモデル普及コース」

(<http://gwweb.jica.go.jp/km/ProjectView.nsf/VIEWParentSearch/0DEED899AFADB27E4925799D0079EAB4?OpenDocument&pv=VW02040104>)

・「ブラジルアマゾンの農村所得向上と環境保全修復のための日系「遷移型アグロフォレストリー」普及認証計画」

(<http://gwweb.jica.go.jp/km/ProjectView.nsf/VIEWParentSearch/EB9CF8B8374A3BF9492579370079D660?OpenDocument&pv=VW02040104>)

・「アマゾン西部における健康的で持続可能な農村開発プロジェクト」

(<http://gwweb.jica.go.jp/km/ProjectView.nsf/VIEWParentSearch/205D2A07FFB80BEF492579C90079E201?OpenDocument&pv=VW02040104>)

②2015年4月の調査報告書を地球環境部森林・自然環境グループ自然環境第二チーム(TEL:03-5226-9537)にて配布します。

(3) その他

- ①業務実施契約（単独型）については、単独（1名）の業務従事者の提案を求めている制度ですので、複数の業務従事者によるプロポーザルは無効とさせていただきます。
- ②ブラジル国内での活動においては、JICA安全管理措置を遵守するとともに、JICA総務部安全管理室、JICAブラジル事務所の指示に従い、十分な安全対策措置を講じることとします。
- ③ブラジルは公用旅券での渡航となるため、契約締結後、早急に公用旅券発給手続きを行う必要がございます（参考：http://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/ku57pq00000x9ife-att/abr_official_passport.pdf）。